

**【研究室名】**

ナノ構造磁気科学研究室

**【担当教員】**

准教授 細糸 信好、助教 重城 貴信

**【教育目的】**

磁性を中心とした固体物性の専門的な知識、実験技術などを基盤として、大学、研究所、企業等で能力を発揮できる人材を育てる。

**【指導方針】**

実験的な研究やゼミナールなどにより、問題点の発見、解決方法の考案、科学的な考察、成果の発表などの能力を身に着けること、またこれらに必要な専門知識を習得することを目標とする。

**【ゼミナール】**

磁性体の特性、偏光と磁性、X線吸収・散乱と磁性などについて輪講を行なう。研究の進捗状況の発表と質疑応答、研究に関連する論文の紹介などを行なう。

**【参考書】**

- ・ 志賀正幸著、「磁性入門」、（内田老鶴圃）
- ・ 安達健五著、「化合物磁性」、（裳華房）
- ・ 佐藤勝昭著、「光と磁気」、（朝倉書店）
- ・ 井上順一郎、伊藤博介著、「スピントロニクス 基礎編」、（共立出版）
- ・ A. P. Guimaraes, Principles of Nanomagnetism, Springer
- ・ S. W. Lovesey and S. P. Collins, X-ray Scattering and Absorption by Magnetic Materials, Oxford Science Publications

**【修士学位取得条件】**

- ・ 研究課題の意義を理解すること。
- ・ 課題を実行するのに必要な実験技術を身につけること。
- ・ 実験データ解析方法、解析結果の物理的な意味を理解すること。
- ・ 実験結果、科学的な知識に基く議論が行なえること。

**【博士学位取得条件】**

- 博士前期課程までの学習、研究などを踏まえて研究課題を見出し、研究計画を立案し実行する能力を身に着けること。
- 関連する研究分野の研究動向を把握すること。
- 学会などで研究成果を発表し、質疑応答ができること。
- 学術誌に研究成果を発表すること。
- 後輩などに教育、研究指導を行なう能力を身につけること。